

# 維和小だより

上天草市立維和小学校 学校だより NO. 2  
令和6年5月2日(木)発行 文責 手嶋

## 学校教育目標

夢に向かい、自ら進んで学び、  
心豊かでたくましい児童の育成



維和小HPへ

新学期がスタートし、約1ヶ月が経ちました。各学級、学級目標も決まり、それぞれの目標に向かって、エンジン全開！パワフルに活動しています。また、先々週、結団式を終え、運動会に向けて始動しました。赤団・白団ともに優勝目指して気合い十分です。低・高学年ともに、ダンスの練習も始まり、低学年はかわらしさ、高学年はたくましさを感じます。仕上がりがとても楽しみです。

さて、大型連休に入り、交通量が増えています。道路の横断や自転車での走行等、学校でも指導していますが、ご家庭でも声かけをよろしくお願い致します。連休明けも「元気と笑顔」を見せてほしいと思います。

## みんなで「SMILE PROJECT」!

「元気と笑顔」あふれる学校に!



SMILE PROJECT



今年度も「元気と笑顔」あふれる学校づくりを目指します。特に、今年度は「SMILE PROJECT」と称し、元気に笑顔で過ごせるように、30人の子供たち、そして職員が一人一人個性を発揮しながら、自らが工夫していく取組を進めていきます。

誰かにやってもらうのではなく、一人一人が推進者となって、自分たちの力で自分たちの学校をよりよくしていこうというものです。

このことについて、始業式で子供たちに話をしました。6年生には、昨年度末からミッションを投げかけており、「考動力」を働かせながらがんばっているところです。維和小のリーダーとして、いくつか取組をスタートさせています。その一つとして、「いわ丸チャレンジ」があります。これは、1年生から6年生まで、誰もが挑戦できる内容を考え取り組むものです。6年生が運営・進行します。第1回は、「10秒ぴったんこ」チャレンジ。10秒に一番近い人が優勝です。10秒まであと0.06秒だった3人が、初の優勝者となりました。「練習の時は、もっと近かったのに・・・」と悔しがる人もいて、このように色々なことに挑戦する楽しみやおもしろさを感じてほしいと思います。

朝の活動については、6年生が毎朝、活動内容を考え、放送しているのですが、今年度はさらに一工夫しています。決められた文章だけではなく、その日の天候や行事等を入れて、放送内容を変えています。聞く側も、「今日は、どんな内容かな?」と楽しみにもなりますし、より意識して聞くようにもなります。



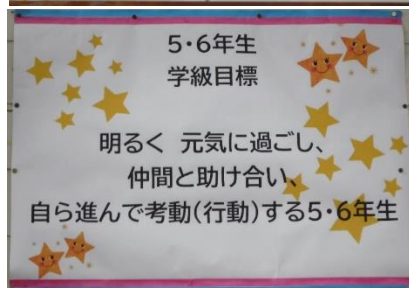
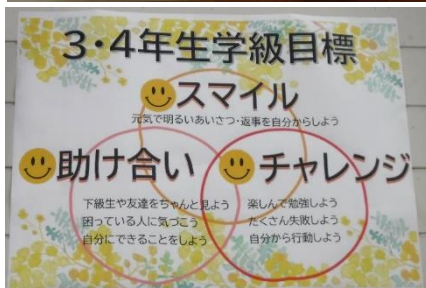
また、教室をまわっている時、子供たちの中に、とても丁寧に字を書いている数名を見かけました。昨年度とは、明らかに違っています。担任の先生から個別に指導があったわけではなく、自分たちで切磋琢磨しながら、進んで行っているそうです。これも「SMILE PROJECT」の一つですね。見ていて、とても嬉しくなりました。

こういった姿が、どんどん広がってほしいと思います。一人一人が高まっていけば、それが学校全体の力になっていくと思います。全員の力で、維和小をパワーアップしていきたいものです!

## このような学級に！

各学級、学校教育目標をうけて、子供たち・担任の思いや願いを盛り込んだ学級目標をつくりました。この目標は、自分たちの目指すゴールの姿です。常にこの目標に立ち返りながら、日々の活動に取り組んでいってほしいと思います。

この目標に向かい、本校の身につけたい資質・能力「考動力・コミュニケーション力・チャレンジ力」をさらに伸ばし、がんばっていくことでしょう。期待しています！



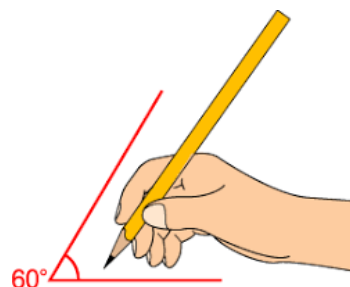
## 鉛筆を正しく持つメリットは？

子供たちは、運動会の練習や各教科の学習に、一生懸命に取り組んでおり、感心します。ただ、少し気にかかる点があります。それは、鉛筆の持ち方です。正しい持ち方をしている人の方が少ないようです。癖がついてしまっているため、意識しないとなかなか直りません。

正しく持つには、人差し指・親指・中指の3指がバランスよく均等に鉛筆を支え合っていることが大事です。どれか一つの指が休んでいたり、力が入りすぎたりしている状態は間違いです。多いのが、親指で人差し指を押さえている状態です。中には、鉛筆の先の方を手前に向けているのも見かけます。

鉛筆を正しく持つメリットとして、右のようなことが挙げられます。

学校でも指導しますが、ご家庭でも、お子さんが正しく持っているのか、見ていただければと思います。よろしくお祈いします。



- 鉛筆を正しく持つことのメリット
- スムーズに鉛筆をコントロールできるため、
  - ★とめ・はね・はらいがきちんと書ける
  - ★疲れにくくなり、集中力がアップする
  - ★はやく書ける・書き写せる

## ベルマーク運動にご協力をお願いします！

昨年度、ベルマーク教育助成財団から、本校にへき地学校支援事業として、備品教材援助をいただきました。トランシーバーや子供たちが選んだ教材などを購入いたしました。

ベルマーク運動は、当時、へき地に勤務する先生が、「黒板とチョークだけしかなく、教材が不足している。他校と同等の教育を受けさせてあげたい」と訴えたことがきっかけで誕生したそうです。「すべての子供に等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい」という願いをこめて、1960年に始まりました。

この活動は、ベルマーク預金で学校の設備や教材をそろえ、さらに国の内外でハンディを背負いながら学んでいる子供たちに援助の手を差し伸べるものです。

そこで、本校は昨年度からベルマーク活動を再開しています。

ご家庭にベルマークが付いている商品のパッケージがあれば、ベルマーク部分を切り取り、お子さんに持たせていただきますようお願いいたします。地域の方も、ぜひご協力いただければと思います。アルミ缶回収と併せ、よろしくお願いいたします。

よろしく  
お願いします！

